

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年2月

事業所名 はるにれ

職員数：6名

回収数：6名

割合：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が個別の発達支援や活動を行うスペースとの関係で適切であるか	4	2	0	個別支援のスペースと預り利用の方のスペースを分けている。	現在のところスペースにゆとりはあるが、必要に応じ調整していく。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2	0	定員に対する配置数を遵守している。	基準人員の遵守と、安全管理や質の高い支援を実施するための配置を確保している。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	0	各部屋は用途や目的に合わせて分けている。その場所で何をしたらよいか、視覚的に表示をしている。	より分かりやすく構造化された空間を目指していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	0	年度末に各委員会のマニュアルの見直しや安全計画等の見直しを予定している。	業務改善の見直しにあたっては、全職員の参画を得て、実施していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	今年度開設し、最初の保護者評価を実施した。今回の評価をふまえ、今後の業務改善に繋げていく	保護者の意向等を把握し、業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	3	今回が開設初年度の自己評価であり、この結果をホームページで2月に公開する予定。	今後も毎年実施し、ホームページで公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	4	第三者評価については実施していない。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	0	外部研修に積極的に参加している。また事例検討等、OJTにも取り組んでいる。	外部研修への積極的な参加と、研修後の研修報告、さらに事例検討などの研修に定期的に取り組んでいく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	アセスメントを通してニーズと課題を分析し、原案検討会を実施した後、児童発達支援計画を作成している。	アセスメントの項目については、ガイドラインを踏まえ、より児童発達支援計画に連動しやすいものにしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	外部機関で実施した発達検査等を参考にしている。ケースによってはボーテージを取り入れている	外部機関で実施した発達検査等を参考に、子どもの適応状況を把握する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3	0	個別プログラムの準備は各担当が行っている。預かり利用者は、計画を踏まえて活動内容を検討している。	チームで、計画的に活動プログラムや個別支援プログラムを立案していく。
	12	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	5	1	0	目標に対し、様々な視点からのアプローチを検討し、課題の内容を工夫しながら支援を提供している。	楽しさと意欲が向上するよう工夫していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	0	朝のミーティングの際、その日の予定や役割分担の確認を行っている。	申し送りノートを活用し、全体で統一した対応ができるようにする。
	16	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	0	個別支援実施後は、振り返りを行っている。預り利用の方は支援終了に伴い、勤務も終了になるため、振り返りは翌日になることも多い。	当日が困難な場合は、翌日に振り返りや支援方法の検討を行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	日々の支援に関して、記録をとることを徹底している。	支援の検証・改善に繋げるためにも、読み返しのしやすい、簡潔で具体的な記録方法に取り組む。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	定期的なモニタリングを実施し、計画の見直しを検討している。	モニタリングを定期的に行いながら、経過の振り返りをし、計画の見直しを検討していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	5	1	0	本人の発達課題に合わせたプログラムに焦点化し、実施している。	「発達支援」には、5領域全てを入れることを基本に見直しをしている。
関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	担当者と児童発達支援管理責任者が参画している。	
	21	学校との情報共有（学校訪問など就学後のフォロー）を適切に行っているか	6	0	0	ケースに応じて学校を訪問し、情報共有をしている。必要なケースについては、保育所等訪問支援に繋げている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	0	該当児はない。	

関 や 保 護 者 と の 連 携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	0	3	就学前に在籍していた園と直接の情報共有はない。	就学前の情報については、相談支援ファイル等を通じて確認していく。
	25	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	発達障害者支援センターが主催する研修に積極的に参加している。	
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	0	地域自立支援協議会の子ども部会（キッズサポートワーキング）に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	保護者同伴の個別プログラム利用者は、ご利用の都度、児童の状況について伝えあい、共通理解を図っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5	0	行動分析や氷山モデルを用いた助言を行っている。ポーターシプログラムを実施。	家族支援プログラム（個別のペアレントプログラム）の実施について検討していく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	契約時に重要事項説明書をもとに説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	預り利用の方については、別日に面談を設定し、定期的に家庭の状況等を確認させていただいている。また、きょうだい児へのカウンセリングを実施している。	日頃から、保護者からの子育ての悩み等への相談に応じるとともに、きょうだい児へのカウンセリングも家族支援として行う。
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	意見箱を設置する他、苦情受付担当者や苦情解決に向けた体制を整備している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2	3	会報等は現在のところ発行していない。	定期的な会報を発行し、活動概要や連絡体制の情報、子育てのヒントといった情報を発信していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	契約時に個人情報の使用について、保護者への説明と同意をいただき、それを遵守している。	日頃から、個人情報の取り扱いについて、職員への意識啓発をしていく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	課題の内容や過ごし方など、見て分かりやすいものに工夫している。	ひとりひとりに合わせた情報伝達の方法について検討していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	1	行事等への地域の方の招待はしていない。	全体行事といった活動は設定しにくいですが、利用者のニーズを踏まえて今後検討していく。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	各マニュアルを整備し、職員への周知と、保護者が閲覧できるよう整備している。今年度は感染対応の訓練を2回実施した。	各マニュアルについては、毎年見直しを行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	今年度は、水害想定と火災想定避難訓練を実施した。	非常災害の起きやすい季節の前に、その災害を想定した訓練を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	今年度は、虐待防止の研修会を2回実施し、日ごろから適切な対応に心がけている。	日頃から、虐待防止の意識や啓発に取り組んでいく。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0	2	4	ヒヤリハット事例集の作成はこれからである。	ヒヤリハット担当者を決め、事例収集と職員への啓発に取り組んでいく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	5	0	食事の提供は行っていないが、食物アレルギーについてはアセスメントで確認している。	
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	1	0	身体拘束廃止検討委員会を整備し、身体拘束を行う場合について契約時に説明（署名）をしている。	